

## 西能美航路の再々編第 2 回住民説明会の報告について

### 西能美航路の再々編第 2 回住民説明会の状況

平成 25 年 10 月 29 日に開催された平成 25 年度第 3 回江田島市公共交通協議会を踏まえ、11 月 9 日から 11 月 20 日にかけて市内 7 か所で住民説明会を開催し、187 人の参加があった。

| 日 時       |     |        | 場 所                | 参加人数 |
|-----------|-----|--------|--------------------|------|
| 11 月 9 日  | (土) | 午後 1 時 | 能美町中町会場 (江田島市役所本庁) | 39 人 |
| 11 月 12 日 | (火) | 午後 7 時 | 沖美町沖会場 (沖美支所)      | 18 人 |
| 11 月 13 日 | (水) | 午後 7 時 | 大柿町会場 (大柿分庁舎)      | 13 人 |
| 11 月 14 日 | (木) | 午後 7 時 | 能美町鹿川会場 (鹿川出張所)    | 32 人 |
| 11 月 15 日 | (金) | 午後 7 時 | 沖美町三高会場 (沖美公民館)    | 13 人 |
| 11 月 18 日 | (月) | 午後 7 時 | 江田島町会場 (江田島保健センター) | 24 人 |
| 11 月 20 日 | (水) | 午後 7 時 | 能美町高田会場 (高田出張所)    | 48 人 |

### 【 参 考 】

#### 西能美航路の再々編第 1 回住民説明会の状況

平成 25 年 8 月 2 日に開催された平成 25 年度第 2 回江田島市公共交通協議会を踏まえ、8 月 20 日から 9 月 26 日にかけて市内 8 か所で住民説明会を開催し、310 人の参加があった。

| 日 時      |     |        | 場 所                | 参加人数 |
|----------|-----|--------|--------------------|------|
| 8 月 20 日 | (火) | 午後 7 時 | 大柿町会場 (大柿分庁舎)      | 17 人 |
| 8 月 26 日 | (月) | 午後 7 時 | 江田島町会場 (江田島保健センター) | 22 人 |
| 8 月 27 日 | (火) | 午後 7 時 | 能美町会場 (江田島市役所本庁)   | 70 人 |
| 8 月 29 日 | (木) | 午後 7 時 | 沖美町沖会場 (沖美支所)      | 27 人 |
| 8 月 30 日 | (金) | 午後 7 時 | 沖美町三高会場 (沖美公民館)    | 33 人 |
| 9 月 24 日 | (火) | 午後 7 時 | 高田会場 (高田出張所)       | 36 人 |
| 9 月 25 日 | (水) | 午後 7 時 | 鹿川会場 (鹿川出張所)       | 33 人 |
| 9 月 26 日 | (木) | 午後 7 時 | 中町会場 (江田島市役所本庁)    | 72 人 |

## 西能美航路の再々編住民説明会における主な意見

### 市営船の継続を求める意見

- 赤字企業なら普通は赤字を減らす努力をする。市は赤字をどうするか努力もせずに再編で逃げようとしている。中町・高田航路はドル箱。この協議会の決定を急ぐのではなく、1年でも市営船改善策をやってみればいい。
- 過去民営でやって痛い目にあったから住民が立ち上がった。民営化したら元の木阿弥。市民と行政で協力して市営船を改善して赤字を減らしていきたい。やることをやらないでいきなり民営化するのはやめてほしい。
- 感覚として、民営化されればいつ値上げされるのか分からないというのがある。公営でやって合理化できる部分をしていただきたい。みんなで案を考えればよい。今からでも遅くないのもう一回、一からやればいい。
- 一社独占になると交渉の余地がなくて補助金をいくらにするかという話になるというのが心配。人件費のところ何とかすれば、公設があるメリットが生じてくるような気がして仕方がない。
- スーパーのように競合相手がいるから安くなる。目の上のたんこぶを除きたいがために民営化しようとしている。全てを牛耳られると航路・値段・便数など全て決められるようになる。だから民営化に反対している。
- 市が赤字になるのを民間でやってもうまくいく保証はない。民間なら減便・値上げをすぐにする。市営船ということで民間が勝手にできないというブレーキが利いているのではないか。
- 生活が将来に向けて安心できる体制がとれるのならいいが、たった4年間とか5年間とかでは、経済効果だけではとても納得できない。まちの活性化のための一番は船の利便性。民間には任せられません。
- 生活航路をどう守るかという視点で改善計画を考えるべき。民間でやっている航路とバランスが悪いのであれば、逆にして江田島市の全航路を公設にすればいい。

### 市営船の経営改善に対する提案

- バスは平日・休日でダイヤが違う。半分くらいでいい。120日あるのでそれを減便するだけでもかなりの削減になる。
- 上村汽船は代理店制度をやっていない。船員が切符を切って回収している。見習ってやればいい。
- 高速船をやめればいい。普通の船を持って来ればいい。昔、野登呂が走っていたが、ああいう単胴船を持って来れば経費はぐっと安くなる。
- 中町～高田は5分くらい。一つにすることにより発着による燃料費が削減できる。

## 完全民営化に対する不安

- 完全民営化が不安なのは、いつ料金が値上げされるか分からない、いつ廃止になるか分からない。そういうところが心配。そのことが10年、できればもっと保証してもらえれば、民営化できるはずだが、市の意思が分からない。
- 完全民営化が全く悪いとは思っていないが、公共交通という問題に対して市が関与できないでは済まない。もっと深刻になった場合には税金投入も含めて、最低限必要とされる航路の維持のために必要な助成なり、支援をすることは当然のこと。そこをどう担保してくれるのかということをお願いしたい。20年30年先も航路の維持については責任を持ちますということをお願いしたい。
- これからも市は関与するし、赤字が出れば補填するし、なくなることは基本的にないということがないと安心感はない。本当に第3案を進めていくのであればそういうことがないといけぬ。
- 交通船を止めたくて引き継ぐなら、しっかりした会社を探して話を持ってこないと。破産が見えている会社に税金を何年も入れていくのか。もっといい結婚相手を見つけないといけぬ。
- 赤字の会社がやるのと、そうでない会社がやるのでは継続の期間も違う。その辺のところは調査してやるのか。
- 民営化にすると赤字になると撤退、減便、値上げになる。民営化なら便数・料金について、市と何らかの協議ができるようにしてもらいたい。
- 県の補助金をもらえる体制、愛媛県の中島汽船のように住民の意見で料金・便数を決められるような条件の下での民営化などを付けて再提示してほしい。
- 一番大きな問題は将来の展望。このままではここに住みたくないということで人口が減っている。展望が示されないから、意見がどんどん出てくる。

## 公設民営を支持する意見

- 何で一気に完全民営化を進めるのか。住民の意見を十分に聞いて、お金のことも考えれば、妥当な線は2案の公設民営化ではないか。金額は当面ほとんど変わらない。
- 公設民営で民間に対して、住民の声を反映させ、何らかの歯止めがかかるようにしてほしい。市営船継続はなかなか難しいと思う。公設民営でどうにかしてほしい。
- 民営化で大丈夫といってもどこに担保があるのか。民間は黒字を確保しようとするので減便する。減便すると不便になる。だから公設民営で歯止めをかけたい。

## 完全民営化を支持する意見

- 呉市のバスの民営化もある。こういう改革は、中途半端はないと思う。このような改革をする場合はどちらかにしないと時間ばかりかかる。
- このままでは財政破たんする。赤字に今頃気づいた訳ではないのに、これから企業努力をしても今の市職員のスタッフでは改革ができるとは思えない。

## その他

- 通院助成をすとか、高校生が二人以上いれば助成すとかで船の利用促進を。
- 値段が高すぎる。補助金を出して値段を安くして、病院へ行きやすくするようにしてほしい。
- 23時過ぎの別料金の深夜便を運航してほしい。
- 中町港を廃止して、中町・高田航路を三高に集約して、三高からシャトルバスを走らせては。
- 高田には大きな駐車場もあるので、高田を起点にしてバスを利用したアクセスを考えてもよかった。
- 民営化・公設民営の場合の負の問題。例えば、公設民営になると市が船を造る。船員はどうするのか。
- 中町・高田航路と三高航路は別々の航路。一緒に話をするのはおかしい。